



# トライアスロン

会場地：淡路市（旧：淡路町、東浦町）

## 競技紹介

トライアスロンは、ひとりの選手がスイム（水泳）・バイク（自転車）・ラン（ランニング）の3種目を続けて行い、最終的なタイム、順位を競う競技です。

1974年にアメリカ西海岸のカリフォルニア州のサンディエゴで誕生し、1981年に我が国初となる大会が鳥取県皆生温泉で行われました。そして、2000年に開催されたシドニーオリンピックから正式種目として採用され、競技人口も年々増加しています。現在、日本では、10万人以上のアスリートがおり、年間200以上の大会が各地で開催されています。近年では、健康フィットネスブームと余暇時間を充実して過ごそうとする人々が親しむ競技としても注目されています。

行事では、一般の部を51.5km、ジュニアの部を6kmから1.4km（一般の部の1/10）の距離で行います。

## 競技方法



スイム・バイク・ランの順に行います。

【スイム】一般：1.5km　ジュニア：ランに変更（200m～1.5km）

一般の部の選手全員が海辺よりスタートします。

水中に引かれるラインがないため、監視船やコース上のブイ、周囲の景色が選手の最短距離へと導くサインとなります。

【バイク】一般：40km　ジュニア：1～3km

スイムを終え順じバイクに移り決められた距離の中で競います。

【ラン】一般：10km　ジュニア：200m～1.5km

最後のレースはランです。レース最大の難関であり、最高の見せ場となります。

トランジット

この競技では、種目間の着替えに要する時間も競技時間として記録され、第4の種目とも呼ばれています。

# 競技場の概要

## 【会 場】

国営明石海峡公園淡路地区、淡路夢舞台、淡路交流の翼港周辺海域

『淡路島国際公園都市（約 350ha）』の「国営明石海峡公園（淡路地区）」、海の玄関口となる「淡路交流の翼港」、そして中核となる「淡路夢舞台」が競技会場となります。

淡路島国際トライアスロン大会の会場として、2002年から競技を行っています。



スイム競技（交流の翼港）



ゴール地点

淡路島国際トライアスロン大会  
バイク競技（淡路夢舞台）